園部共同作業所ニュース

園部共同作業所発行

〒６２２－００１１
京都府南丹市園部町上木崎町入道３２
電話０７７１－６２－３２４９
FAX０７７１－６３－２９４１

NO　６２

NPO法人船井ほのぼのかいがスタート

この四月一日、西山幸伸理事長ほか定スタッフ一名の非営利活動法人「グループほのぼのかい」が、船井特別支援学校前の作業所にて、ニーズはあるものの難しい話になりました。

実状です。

現在、作業所とこれからの活動内容などを開く施設の認可を目指して、三月一七日付で京都府から正式に認証を受けました。

少し堅い話になりますが、地域で生活する知的障害者や精神障害者の生活支援、自立支援、社会参加を促進するための事業を行うこと、また、保健、医療又は福祉の増進を図ることを目的とした特定非営利活動法人（NPO法人）の認証を受けました。

この法人設置の目的は、地域精神障害者の自立した生活を促進することと、地域づくりに貢献することをめざしています。

ノーマライゼーションの理念のもと、精神障害者の自立した生活を促進することと、地域づくりに貢献することをめざしています。

知子さん　若すぎたお別れ

新年度が始まって間も無い四月四日、吉田知子さんが突然心筋梗塞で亡くなられました。

知子さんは、平成十一年四月から当作業所にパートメンバーとして通所されていました。

明るく好奇心旺盛で、ひと度興味を持つと文章を書くことに没頭する一面もあり、三十八歳の若さでの知子さんの突然の死にはただ驚くばかりです。

寂しさとともに、ご冥福をお祈りいたします。

天国に旅立った「ともちゃん」！

平成十八年四月六日、沢山の人々と「ともちゃん」の旅立ちを見送りました。とても悲しかった。

病気にもサヨウナラして安らかな、良いお顔でした。

日がたった今、あれは夢だったのではと自分自身にきいてみます。

六年前の出会いだったかしら？敬語をしっかり使え、相手を見て言葉を選んで話せる、そのか悪いのかは別にして、良いのか悪いのかところに出るとすぐに対応できる、そんな「ともちゃん」、沢山の人を前にして、自分の病気のことを話しました。私は涙があふれて来ました。こうして書いていても胸がいっぱいになります。勇気ある行動に脱帽でした。

日吉駅で出会い、一条までご一緒したこと、途中、家族のこと、食べ物のこと、話が弾みました。

「ともちゃん」は病院に、きっちり通院も出来ましたネ。

今年の二月十七日が「ともちゃん」と出会った最後になってしまうなんて、丁度、船岡の駅から内藤さんも一緒になって、三人でおしゃべり出来ました。その時「ともちゃん」はカバンの中から紙袋に入った小銭入れを、プレゼントしてくれました。やさしい柄の小銭入れ、思い出の品になってしまいました。

「ともちゃん」の分身をこの世に残せて本当に良かったと思います。天国から見ていて下さい。分身の行方を見守って下さい。

二月の「楽しくなろう会」では、「ともちゃんしんぼう会」と持参の材料で、おいしいお好み焼きをいただきました。この日が「楽しくなろう会」も最後のきまりとなりました。

そして、この夜は、参加の大好きなご主人の希望で、なくなってしまうかもしれない汽車で東京までの旅となろう会、いろいろ思い出を残せました。

病気と闘って大変だったと思います。天国には病気は持って行けません。病気にさよならをして健やかな日々を送って下さい。

合掌

こころの健康推進員
木ノ本須美枝

知子さん　さようなら

内藤富子

知子さんとの出会いは仕事で知り合い一緒にレンダ巻心してシンシンと突然死んだ。ほがらかな人でいましたが、事きびっくりした。糖尿病になりました。入院したこと有りました。体重もふえ過食よくない作業所来てとよく眠れないとよく言って体調が悪いとよく言ってました。

知子さんは又保健所の西邑さんに連れられて精神障害者意見発表もして思い出たくさんあります。最後に思い出されます。

作業所皆一緒に桜見に行こねと約束してい念です。

私も寂しくなりました。

寄贈品

匿名　様　米、もち、小豆
大浦　文　様　菓子
三京化成　様　菓子
浅草浩一　様　菓子
河合循　様　菓子
あたご電子ジュース　様

寄付金

大浦　文　様
木下悠紀子　様

取締役て誰

やっている仲間でも“段取り”をとれる人はなかなかいません。人に作業所に入所ほしてもあとしたどて

「館山寺温泉」と「掛川ドラマ館」の旅

レクレーション・行事

編集後記